

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	702	キハダ栽培推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	03	農業振興費
担当部課名	青山支所産業建設課			細目	110
作成者氏名	山内 敏	連絡先	52-3220	細々目	01
					キハダ栽培推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	青山キハダ生産組合	新規地場産業としてキハダの植樹を奨励し、産地化を図る。					
本年度事業内容	青山キハダ生産組合に対し、運営、新規植栽に係る経費に対し補助金を交付。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	100	105	105
	委託料			
	補助金	100	100	100
	その他		5	5
合計(A+B)		820	825	825
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		820	825	825
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
新規植樹本数	本	1210	2000	3000			
栽培農家	戸	14	16	20			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
新規植樹本数	植樹本数の増加は、将来の安定供給態勢構築への条件整備。	本	1210 目標 (1000)	2000	3000
栽培農家	上記に併せ、栽培農家を増やすことが特産品化の条件となる。	戸	14 目標 (12)	16	20

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

従来は、林業関係者を中心に推進を行ってきたが、絶対数の少なから頭打ちになってきたので、農家組合、区長会、ふれあいフェスタ等の機会を捉えて、普及に努めた結果組合員が10から14人に増加した。また、休耕農地への植樹を推進することによって荒廃地化の防止と、既荒廃農地の復活に寄与できた。しかしながら、獣害が多く発生しているが、現在の市の補助金制度の中で、これに対する補助金はないので、助成措置を考えなければならない。

評価	必要性	4	組合員の増員推進を今後も一層強化し、栽培本数の拡大運動を展開する必要がある。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A